

道徳学習指導案

指導者 石津 誠

1 日 時 平成 24 年 11 月 5 日 (月) 5 校時

2 学 年 第 3 年 2 組 23 名 [3 年 2 組 教室]

3 主 題 名 礼儀正しいふるまい [2 - (1) 礼儀]

4 資 料 名 「言葉のまほう」(出典「3 年生のどうとく」文溪堂)

5 主題設定の理由

○ 相手の立場に立ち、心のこもった接し方を心掛けることは、社会生活を営む上でこの上なく大切である。従来、日本人は礼儀を重んじ、様々な場面において、そのよさを伝統化してきた。しかし、近年は、礼儀のすばらしさや伝統をおろそかにする風潮が多々見受けられる。礼儀を重んじるということは、相手を重んじることであり、礼儀を大切にすることで、相手の立場に立つ温かい態度が生まれるということである。

そこで、礼儀は、外面的な形として表現されるものであるが、本質的には、相手に対する内面的な人格の敬愛が備わってこそ意味がある。押しつけられたものや義務づけられたような形式的なものでなく、みんなが気持ちよく生活するためのものであるということに触れることで、一層児童の心と形の一体化を深めることができる。

○ 本学級には、「おはよう」「さようなら」のあいさつができる児童が多い。しかし、不意にぶつかってしまったり、友だちの持ち物を落としてしまったりした時に「ごめんね。」と言うことができず、そのまま立ち去ってしまうことがある。相手の気持ちを捉えることができず、正しい対応ができていないものであると考えられる。相手の気持ちに応じた対応を身につけ、だれに対しても真心をもって接するという礼儀の大切さを本資料を用いて考えさせたい。

○ 指導にあたっては、資料「言葉のまほう」を活用する。本資料は対照的な 2 つの場面から、構成されている。2 つの場面の「ぼく」の心情の違いに気付かせることを通して、相手の気持ちを思いやるふるまいの大切さを考えさせるのに適切な資料であると考えられる。

導入では、けんかをしたときの言葉やそれを言われたときの気持ちを思い起こさせ、普段の生活で使っている言葉について想起させる。展開前段では、2 つの場面について気持ちを考えるために、ペアで役割演技をする。中心発問では、2 つの場面の比較を通して、言葉の違いに気付かせるために、ワークシートに考えを記入させる。展開後段では、相手の立場を考えて言葉を使うことができているかを振り返るようにする。終末では、事前にアンケートをとっておいた、児童一人一人の言われてうれしかった言葉とエピソードをプロジェクターで映し、心に響く言葉について考える。

6 準備物

場面の絵、顔の絵、看板、ワークシート、プロジェクター、パソコン

7 ねらい

- 同じ「人とぶつかった場面」なのに、言葉や態度で自分も相手も気持ちがこんなに違うことに気付いた「ぼく」の姿を通して、相手のことを考え、誰に対しても真心をもって接しようとする態度を育てる。

8 本時のポイント

2つの場面を比較して考えたことをワークシートに書かせることで、自分の意見を明確にし、発表し合うことで様々な意見を交流することで、考えを深める。

9 指導過程

段階	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	指導上の留意点
導入	1 けんかをしているときの自分の言葉遣いや態度を想起する。	○けんかをしたときに使う言葉には、どんなものがあるだろうか。 ・うるさい。 ・自分だって～するくせに。 ○その言葉を言われたときに、どんな気持ちになりますか。 ・腹がたつ。 ・むかむかする。	○ 普段の生活の中で思わず使っている言葉について想起させる。
展開前段	2 資料「言葉のまほう」の1場面を聞いて話し合う。 資料「言葉のまほう」の2場面を聞いて話し合う。	○相手の子にどなられ、にらみつけられた「ぼく」はどんなことを考えましたか。 ・ああ、いらいらする。 ・せっかくゲームソフトを買ったのに、気分が悪いな。 ○スーパーで、ぶつかった男の子が謝って、みかんを拾い、汚れを手で落とそうとしてくれるのを見た「ぼく」は、どんな気持ちでしたか。 ・拾ってくれて、やさしい。 ・男の子に悪いことをしてしまったな。	○ ペアで役割演技し、自分も相手も嫌な気持ちになっていることに気付かせる。 ○ ペアで役割演技し、「ぼく」だけでなく、相手の気持ちにも気付かせる。

		<p>◎はっとした「ぼく」はどのようなことに気付いたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶつかったけど、悪い気はしなかった。 ・言葉が違うだけで、気持ちが変わってくるな。 ・昨日はぼくの言い方が悪かったのかな。 ・「ごめんね」の一言が大事なんだな。 ・相手の気持ちを考えて、謝らないといけないな。 	<p>○ 考えをもたせるために、ワークシートに考えを書かせる。</p>
展開後段	3 今までの自分を振り返る。	<p>○これまでの生活の中で、相手のことを考えた言葉を使っていましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち込んでいる友達に声をかけた。 ・言い争いのときには、きつい言葉を言ってしまった。 ・自分も悪いのに、謝ることができなかった。 	<p>○ 自分の態度を振り返らせ、できていた点や直したい点について考えさせる。</p>
終末	4 友だちがうれしい気持ちになる言葉がけに気付く。	<p>○相手にしてもらってうれしかったことやその時の言葉を紹介します。どんな時にうれしい気持ちになるのか、考えてみましょう。</p>	<p>○ 事前のアンケートであつめた「あったか言葉」やそのエピソードを紹介し、どんな言葉や態度がお互いを気持ちよくするのか、気付かせる。</p>